

熊本地震における 緊急地震速報の活用実態調査 報告書

平成29年3月22日

気象庁地震火山部管理課
地震津波防災対策室

. 調査概要

1. 調査目的

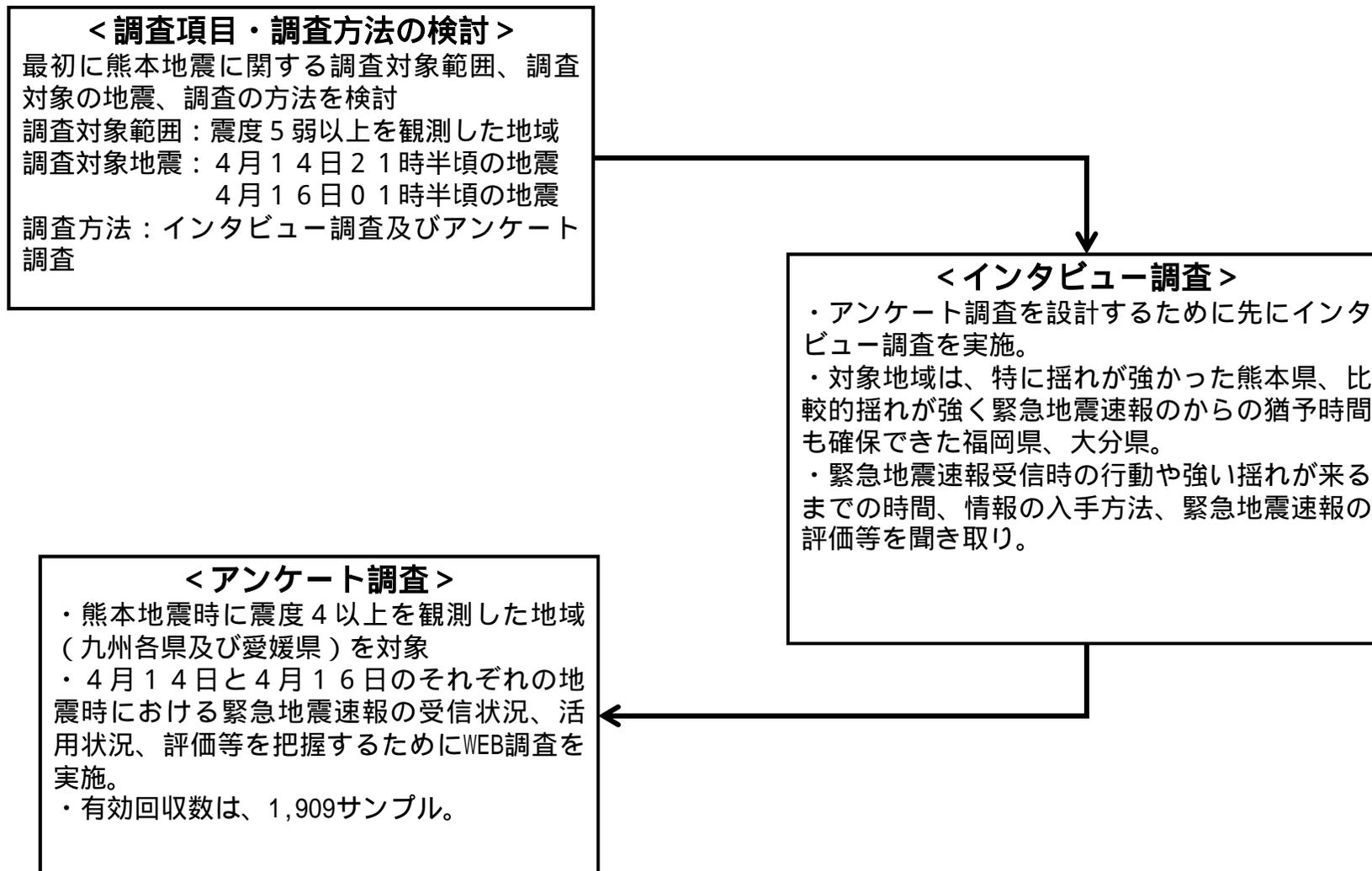
「平成28年(2016年)熊本地震(以下、「熊本地震」という。)」は、過去に例のない非常に活発な地震活動で、2度の最大震度7及び長周期地震動階級4を観測した地震が発生し、緊急地震速報(警報)も19回発表された。緊急地震速報(警報)が、これほどの強い予想でかつ、高頻度で発表されることは非常にまれである。また、長周期地震動階級4が観測されたのは平成25年3月の長周期地震に関する観測情報(試行)の発表開始以降初めてである。

気象庁では、平成19年10月より緊急地震速報の配信を開始し、10年近く運用を続けてきたところである。これまでも利活用に関する調査は何度か実施しているが、これほど強い揺れに対する調査は初めてのこととなる。今回の地震では、震源直上で強い揺れに間に合わなかったところ、多少離れていて強い揺れに間に合ったところ、遠く離れて長周期の揺れに見舞われたところなど多様な状況であった。これらの状況における緊急地震速報と対応行動や被害との関係など、状況をできるだけ正確に、詳細に明らかにし、緊急地震速報の効果を検証することは非常に重要である。

本調査は、熊本地震での緊急地震速報の利活用の実態を調査することにより、今後の地震対策や情報提供に寄与し、近い将来発生することが想定される大規模な地震災害に対する当庁の防災業務に資することを目的とする。

2. 調査ステップ

今回の調査は次の3つのステップで実施した。



3 . 調査概要

(1) インタビュー調査

1) 調査対象

熊本市、福岡市、大分市に在住の20歳以上の男女

2) 調査方法

デプスインタビュー

3) 調査数

熊本市(5人)、福岡市(7人)、大分市(5人)の合計17名

4) 実施期間

平成29年1月9日(月) ~ 平成29年1月16日(月)

5) インタビュー項目

- ・熊本地震(4月14日及び16日)の揺れの体験と情報入手、対応行動
- ・熊本地震を経験しての変化
- ・緊急地震速報の評価

3. 調査概要

(2) アンケート調査

1) 調査対象

熊本地震の14日夜9時半ころの地震と16日夜中1時半ころの地震発生時、いずれかの地震で震度5弱以上を観測した市町村にいた20歳以上の男女

2) 調査方法

インターネット上のWEB画面に用意した質問に回答する方式(WEB調査)

3) 有効回収数

有効回収数: 1,909サンプル

性別、年齢、居住地の分布は、「平成27年国勢調査人口等基本集計」(総務省統計局)の分布の割合をもとに割付。回収数は以下の通り(割り付け数に満たない階層が一部ある)。

	n	%
全体	1909	100.0
男性	950	49.8
女性	959	50.2

	n	%
全体	1909	100.0
20~29歳	259	13.6
30~39歳	336	17.6
40~49歳	361	18.9
50~59歳	343	18.0
60~79歳	610	32.0

	n	%
全体	1909	100.0
愛媛県	12	0.6
福岡県	786	41.2
佐賀県	119	6.2
長崎県	87	4.6
熊本県	551	28.9
大分県	307	16.1
宮崎県	45	2.4
鹿児島県	2	0.1

4 . 集計・分析の記述について

- 図表中のnは回答者の数(母数)であり、回答比率(%)算出の基数を表している。
- 回答比率(%)は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表示している。このため、回答比率の合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として100%を超える。

. 調查結果

調査結果概要

アンケート調査の設計のために先に実施した熊本市、福岡市、大分市でのインタビュー調査では、4月14日と4月16日の両方の地震に対して、揺れの体験とその時の緊急地震速報の入手、対応行動等について時系列に聴取し、その間の変化や違い、緊急地震速報の評価などを聴取した。インタビュー調査の結果、経験を積むことによる学習効果が見られたので、その後のアンケート調査でも両日の対応等を比較できるよう調査を設計した。

アンケート調査の主な結果は次のとおり

- 緊急地震速報だということが「音や映像ですぐにわかった」と回答した人は、14日の地震では5割台半ば、16日の地震では6割弱となっており、経験による学習効果の可能性が見られるとともに3年前の淡路島の地震時(36.6%)と比べて向上している。
- 熊本地震のときに、緊急地震速報の効果があったかどうか聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人においても、「効果はなかった」と回答した人は3割台半ばとなっており、6割以上の人は何らかの効果について回答している。
- いずれの地震の場合も眠っていた人のうち、緊急地震速報がきっかけで目を覚ました人が4割強いる。
- 事前に緊急地震速報を入手した際の対応を考えていた人とそうでない人で、地震時の対応行動について差がみられる。
- 猶予時間が長いほど「効果があった」とする人が多く、特に「心構え」の面で差が見られる。

本調査結果は、緊急地震速報(警報)に関する利活用状況の基礎データとなるものであり、緊急地震速報の効果的活用のための検討に活用する。

インタビュー調査結果

インタビュー調査結果

1. インタビュー調査項目

(1) 導入

司会者挨拶、調査主旨説明

対象者属性確認(居住地、職業、家族構成)

お住まいについて

(2) 熊本地震(4月14日)の揺れの体験と情報入手、対応行動

熊本地震(4月14日)での揺れの体験について

その時(4月14日)の状況について(時系列に聴取する)

(3) 熊本地震(4月16日)の揺れの体験と情報入手、対応行動

熊本地震(4月16日)での揺れの体験について

その時(4月16日)の状況について(時系列に聴取する)

(4) 熊本地震を経験しての変化

熊本地震の14日の地震の揺れを経験して、16日の地震時は何か行動を変えたということはあるか。

熊本地震の14日の地震の揺れを経験して、何か対策をとったことはあるか。

(5) 緊急地震速報の評価

今回の熊本地震時に、緊急地震速報を見聞きしたことをきっかけに行ったことはあるか。

緊急地震速報をどう思うか。

インタビュー調査結果

2. 主なインタビュー結果

(1) 熊本地震(4月14日)の揺れの体験と情報入手、対応行動

EEW入手タイミング

- ・緊急地震速報が届いたのは(揺れ始めた)後です(熊本市)
- ・(ポケットの携帯が鳴ったが)聞き慣れない音だったので、何のことかなと。鳴ったから地震が来るという感覚ではなかったですね。別々のことのような感じでした。(福岡市)
- ・緊急地震速報の方が早かった。(店で)座った瞬間ですね。その時、周りの方々も、結構、携帯みんな鳴りました。(大分市)

EEW行動

- ・なし(熊本市)
- ・揺れている間に主人の携帯が鳴り響いて、主人が「地震だ」と叫んだ(福岡市)
- ・娘と一緒に寝ているから、娘に何かあっちゃいけないと思って、娘の上覆いかぶさって。
子供の身を守ろうとしました。(大分市)

揺れ方

- ・いきなりがーんと来ましたからね。がっがーと。どかーん！どどどどって感じ。
もう音がしているという感じ(熊本市)
- ・キャスター付き椅子ごと揺れ動いていると感じるような、横揺れ of 感覚。揺れているかなと思ってから来るというよりは、感覚的にはいきなり揺さぶられたような。(福岡市)
- ・横に、結構、ガンとくるような。横揺れですね。最初、軽かったんですよ。その後から結¹¹
横揺れて、これはちょっとひどいなって、このをすごく思ったんですよ。(大分市)

インタビュー調査結果

2. 主なインタビュー結果

(1) 熊本地震(4月14日)の揺れの体験と情報入手、対応行動

揺れたときの行動

- ・(座って夫と)思わず抱き合うみたいなの。かつてない揺れだったので。怖かったですね。天井についでる照明器具は落下するかなと思って、それをずっとにらみつけてたような(熊本市)
- ・止まっていました。これ以上どうなるのかという感じですね。下に潜るということはなかったです。机に手をつけてそのまま(福岡市)
- ・結構、今までにないくらい揺れていたの、とりあえず、上の階に嫁と子供がいたので。助けるじゃないですけど、上がって。もし、下に下りたりせんといけんのならと思って、階段を上がって2階に移動。揺れている間も、寝室に行って、揺れが収まるまで待機。布団をかぶって子供に覆いかぶさってという感じですね。(大分市)

揺れている間に何もしなかった理由

- ・テレビとは距離があるし。倒れたり、崩れたりして私たちが怪我をするというものもなかったし。火は扱ってなかったし(その場がたまたま安全な場所だった)(熊本市)
- ・咄嗟に反応できなかつた感じです。「わ、揺れている」と椅子で安定を図ろうとして、避難や机に潜ることは思い付きませんでした(福岡市)
- ・焦ってしまって何をしたらいいのか...(大分市)

インタビュー調査結果

2. 主なインタビュー結果

(2) 熊本地震(4月16日)の揺れの体験と情報入手、対応行動

EEW入手タイミング

- ・私が気付いた時にはすごく揺れていたなので、どちらが先かはわかりません(熊本市)
- ・(緊急地震速報のアラートが)鳴ってから直ぐ。「あ！」と思ったら揺れていた(福岡市)
- ・揺れが始まる前に速報が来ました(大分市)

EEW行動

- ・なし(熊本市)
- ・その時もいざとなったらすぐに出られるように、同じように扉を開放して、寝室に移動して、ベッドに座ってじっとしていました(福岡市)
- ・起きて、子供部屋のドアを開けたのと。子供の頭の上にヘルメットを。余震が続いていたので。(大分市)

EEW行動の理由

- ・最初の時は分からなかったのですが、それ以降はもうヴィンヴィンを基準に。「あ、これから揺れる」というので(福岡市)
- ・余震が続いていたので、子供部屋にヘルメットを置いていたんですよ。それをそれぞれにかぶせて。起こしはしなかったんですけども。とりあえず子供部屋のドアを開けましたね。万が一のために(大分市)

インタビュー調査結果

2. 主なインタビュー結果

(2) 熊本地震(4月16日)の揺れの体験と情報入手、対応行動

揺れ方

- ・もう現実とは思えなくて。たぶんこれ寝てるんだよね私、と思いながら。覚醒するにしたがって、これはただ事ではないと。二階が一階を押しつぶすというイメージが先行して、このまま私はどうなるんだろうと(熊本市)
- ・前震の時と明らかにどちらが大きいという感じではありませんでした。同じようにどちらもかなり強い、めったにこないようなレベルの揺れだという感じ。割と大きめに(横に)ユサユサ(福岡市)
- ・縦揺れでしたよね。揺れの質的には、あまり変わらないように思えたんですけど。本当、大きい揺れがガーって来て縦揺れ、ガタガタガタって感じですかね(大分市)

揺れたときの行動

- ・ベッドにしがみついて(熊本市)
- ・持っていたものを膝に押さえつつ、椅子を持ちつつ、揺れているという状況だったと思います(福岡市)
- ・妻が、まず子供に、覆いかぶさるじゃないですけど。何も来ないようにして。特に周りの物が、なんか来ないかっていうところで、身の安全を確保したっていうところですかね(大分市)

インタビュー調査結果

2. 主なインタビュー結果

(3) 熊本地震を経験しての変化

- ・14日のあとで洗濯機に水をためました。行動を変えたことはないです(熊本市)
- ・(16日の時は14日時に緊急地震速報を経験したので)速報を聞いてスムーズに動けると感じる(福岡市)
- ・上に重い物を置いていたりとかしていたのを全部下に下げました。食器とかも、もう必要なもの以外は、ちょっと、そこに直したりとかは若干しました。子供のヘルメットは元々、玄関に置いていたんですけども、14日の後っていうより、その後、何回か余震があったので、枕元に置いておこうっていう形で。子供もそれぞれに水と、逃げられるように、それぞれの荷物に衣服を置いたりとか。一応、2階と1階の両方に食料を備蓄したりとかはしましたね。(大分市)

(4) 緊急地震速報の評価

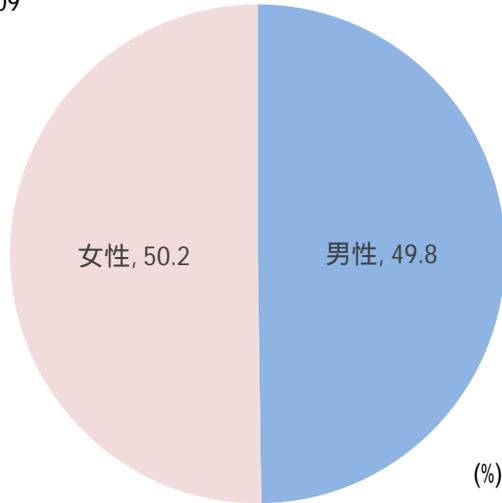
- ・(怖くて)本当に固まってました。慣れるってことはなかった。揺れてる最中にさらに鳴ると、これ以上がくるって。怖くてお手洗いにも行けないような状況(熊本市)
- ・最初の時は分からなかったのですが、それ以降はもうヴィンヴィンを基準に。「あ、これから揺れる」というので、凄く便利な機能だなと思いました(福岡市)
- ・びっくりする音なので、耳に入りやすい。だから、緊急のときにはいいのかなと思いますね。危機感をあおられる音というか(大分市)

アンケート調査結果

【回答者属性】

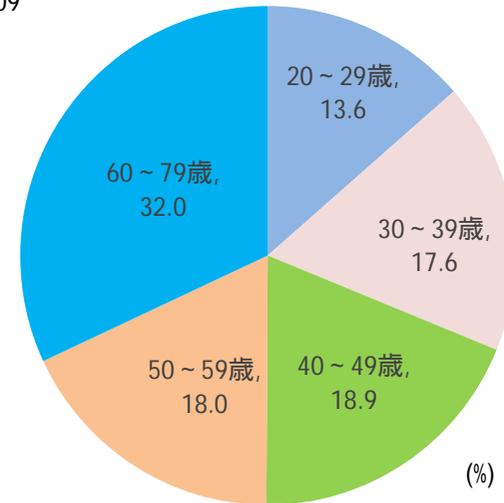
〔性別〕

n=1909



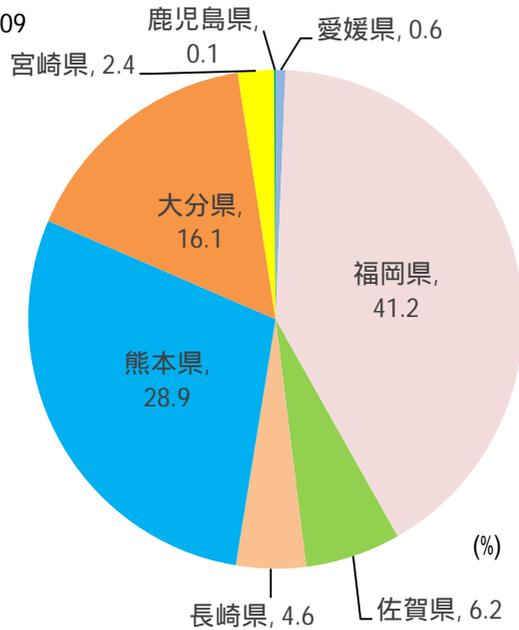
〔年代〕

n=1909



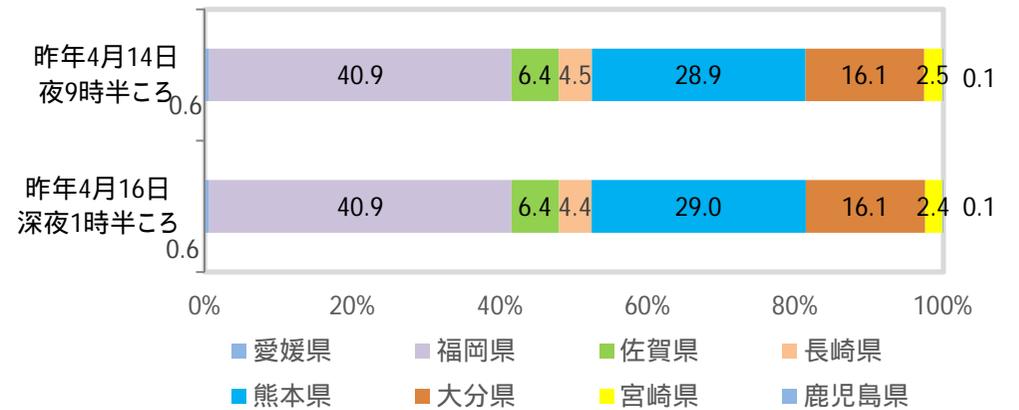
〔居住地〕

n=1909



〔地震発生時の居場所〕

n=1909

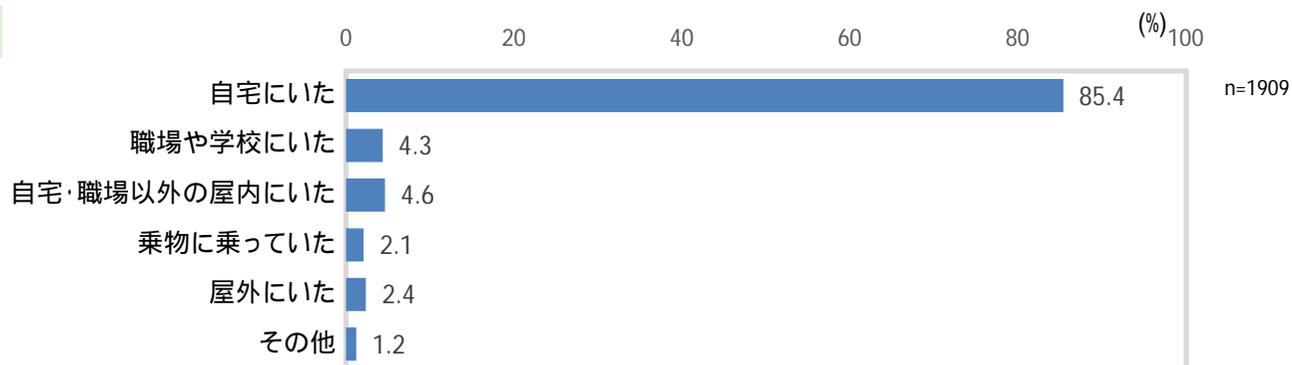


【地震発生時にいた場所】

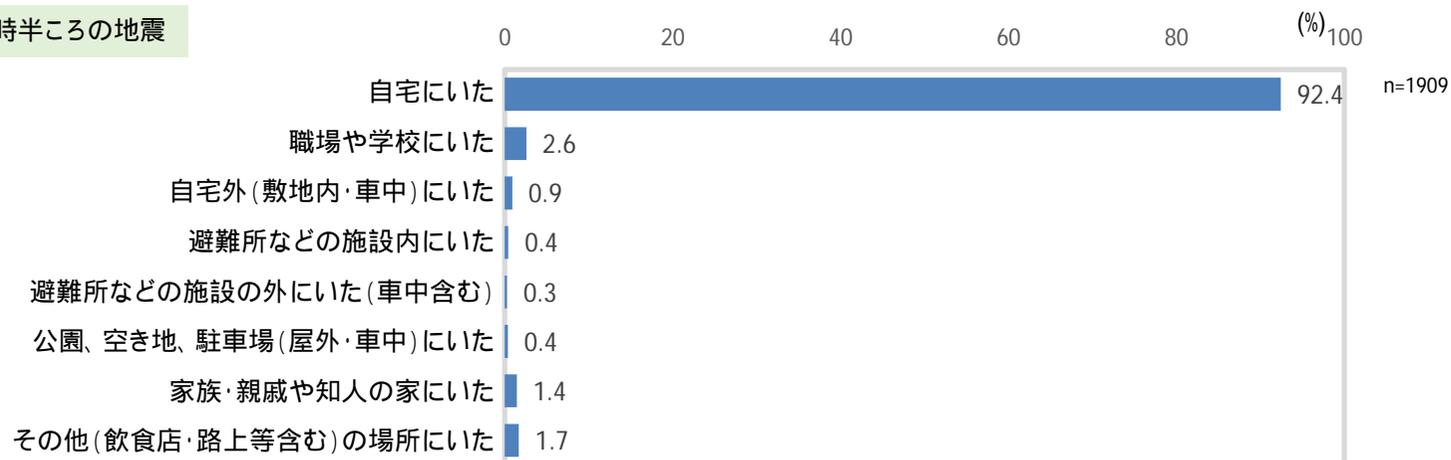
4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、地震発生時にいた場所を聞いたところ、

- 「自宅にいた」と回答した人は、14日の地震では8割台半ば、16日の地震では9割強と多数を占めている。

4月14日夜9時半ころの地震



4月16日深夜1時半ころの地震



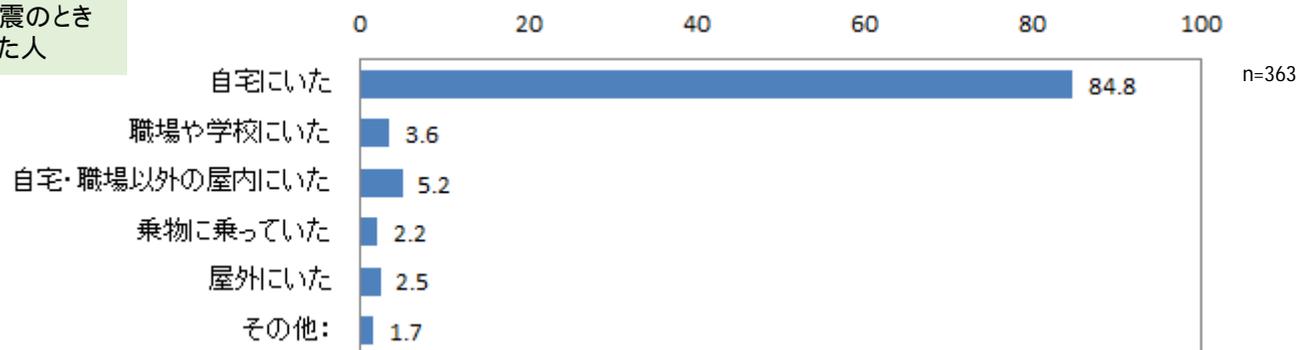
【地震発生時にいた場所】

震度6弱以上

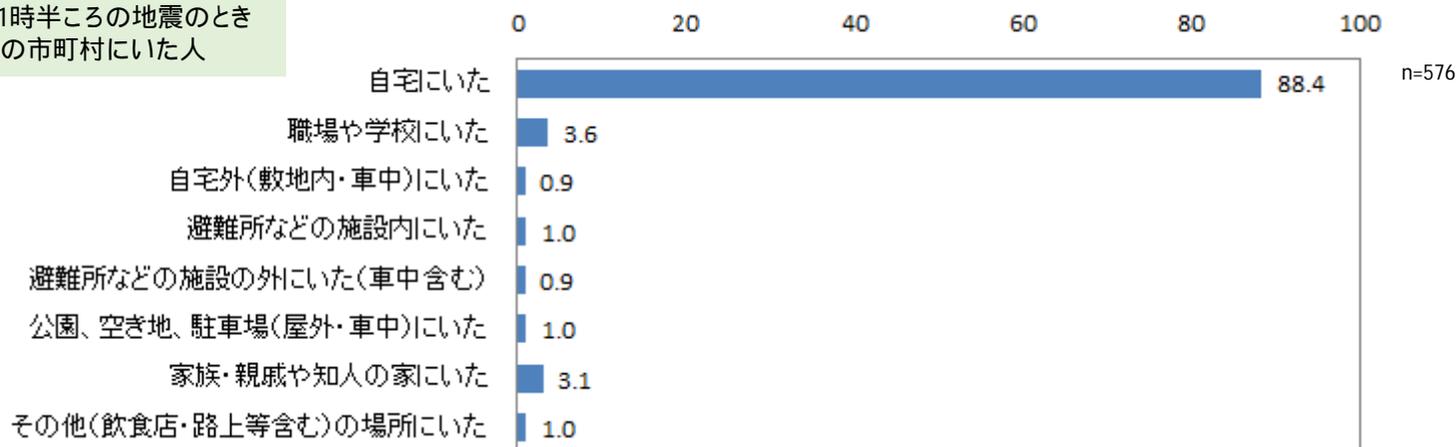
4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、地震発生時にいた場所を聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人で

- 「自宅にいた」と回答した人は、いずれの地震でも8割台半ば以上で、全体と同程度となっている。

4月14日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



4月16日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人

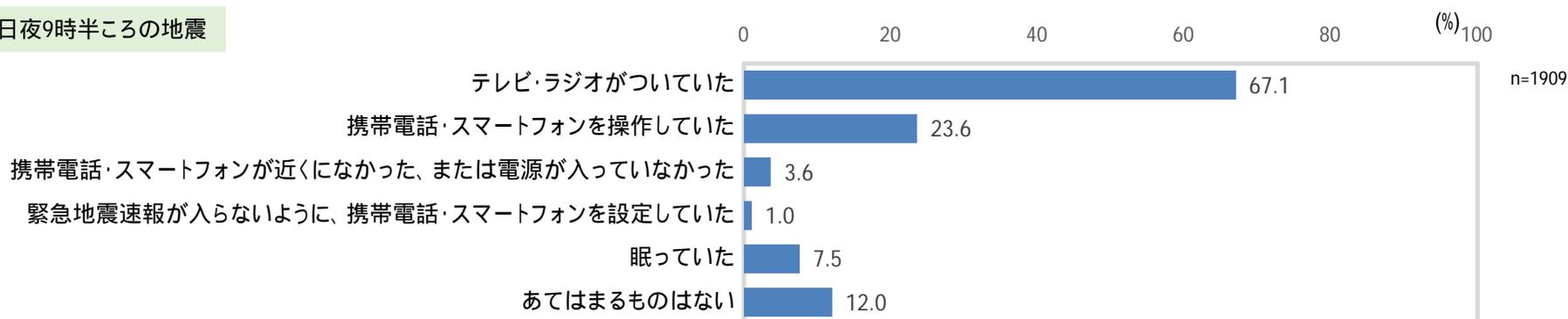


【地震発生時の状況】

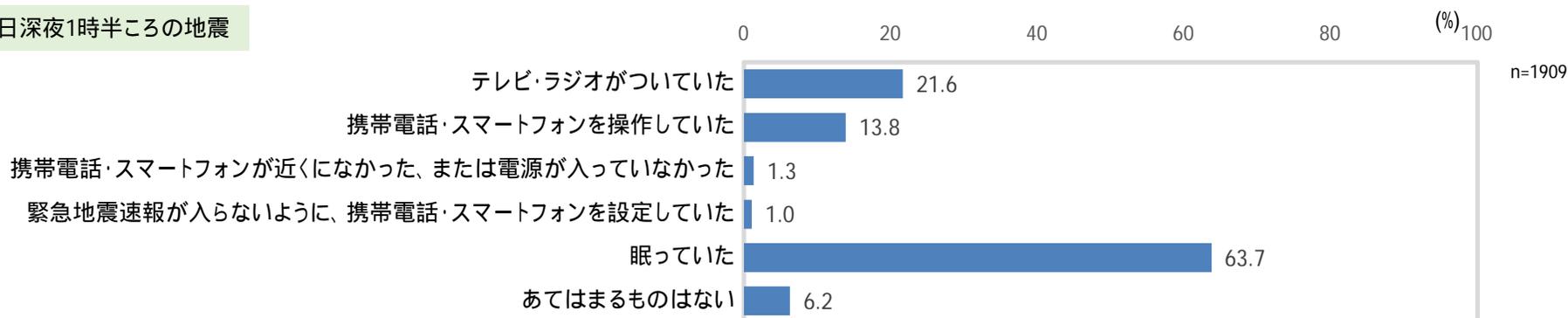
4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、地震発生時の状況としてあてはまるものを聞いたところ、

- 14日の地震では、「テレビ・ラジオがついていた」と回答した人が7割弱で最も多く、次いで「携帯電話・スマートフォンを操作していた」は2割台半ばとなっている。
- 16日の地震では、「眠っていた」と回答した人が6割台半ばで最も多く、次いで「テレビ・ラジオがついていた」は2割強となっている。

4月14日夜9時半ころの地震



4月16日深夜1時半ころの地震



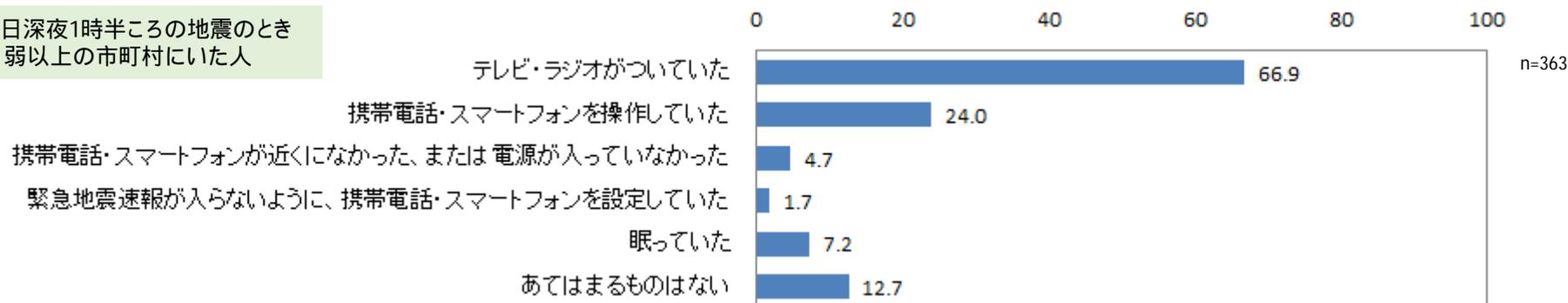
【地震発生時の状況】

震度6弱以上

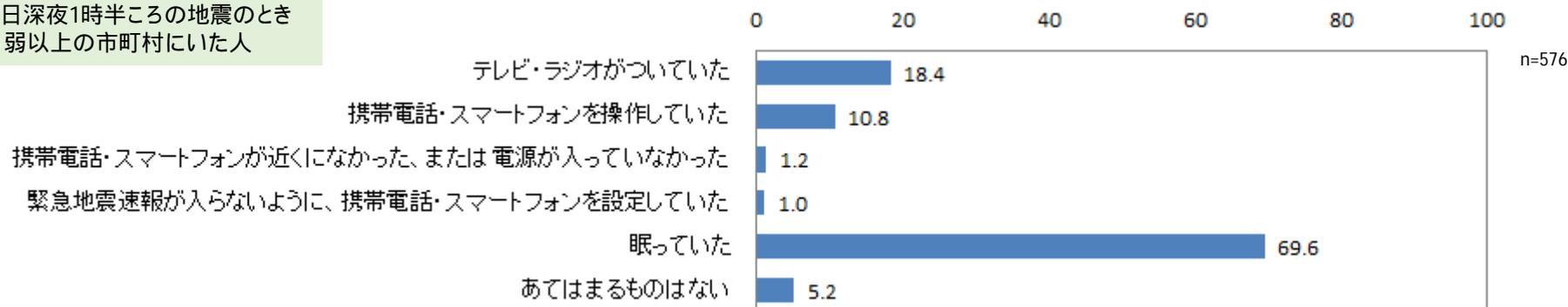
4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、地震発生時の状況としてあてはまるものを聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人は

- 14日の地震では、「テレビ・ラジオがついていた」と回答した人が7割弱で最も多く、次いで「携帯電話・スマートフォンを操作していた」は2割台半ばとなっており、全体と同程度となっている。
- 16日の地震では、「眠っていた」と回答した人が7割弱で最も多く、次いで「テレビ・ラジオがついていた」は2割弱となっており、全体と同程度となっている。

4月14日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



4月16日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人

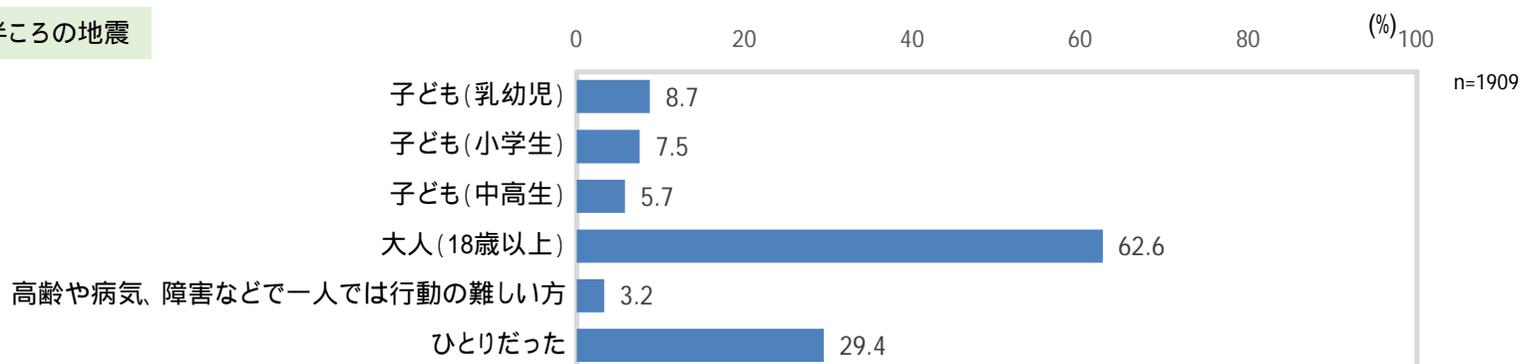


【地震発生時の同伴者】

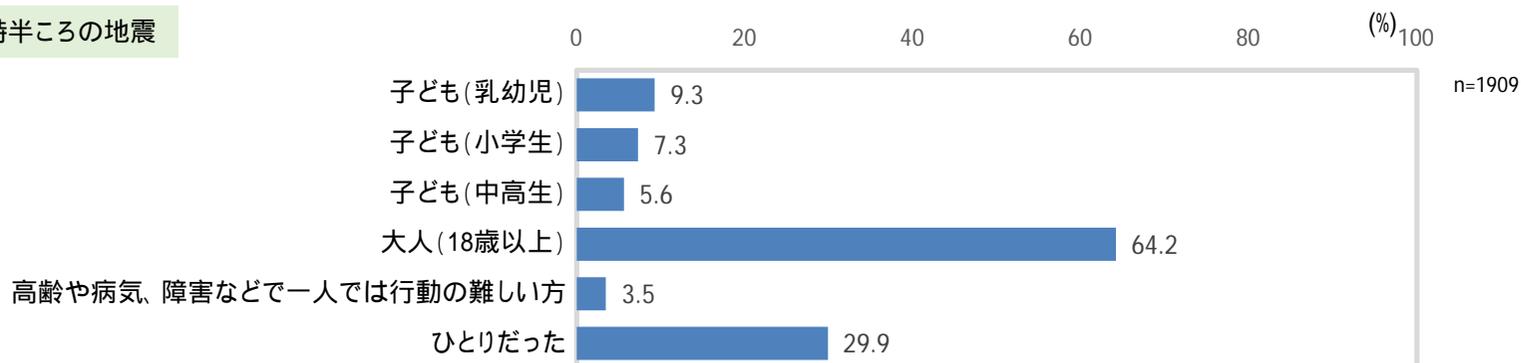
4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、地震発生時に誰と一緒にいたか聞いたところ、

- 「ひとりだった」と回答した人は、いずれの地震でも3割弱となっている。

4月14日夜9時半ころの地震



4月16日深夜1時半ころの地震



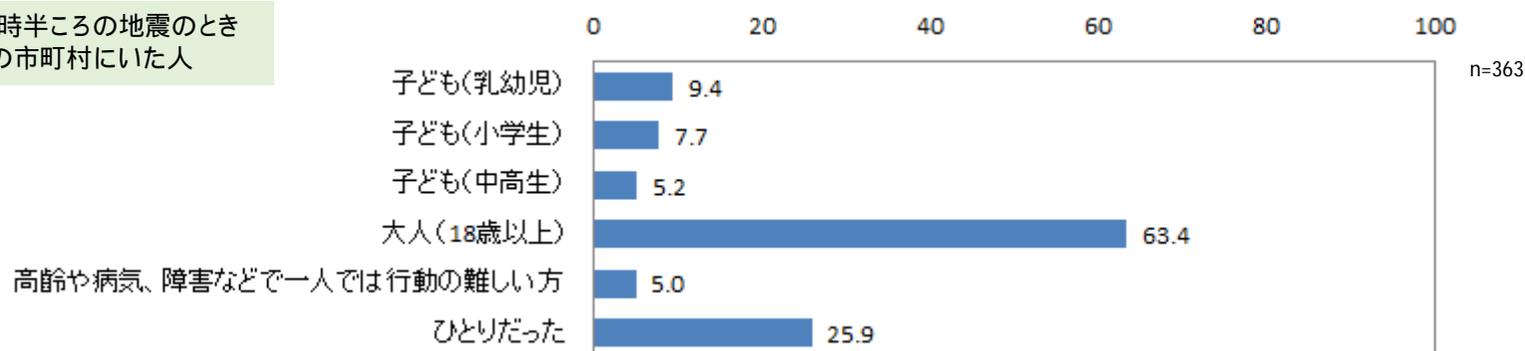
【地震発生時の同伴者】

震度6弱以上

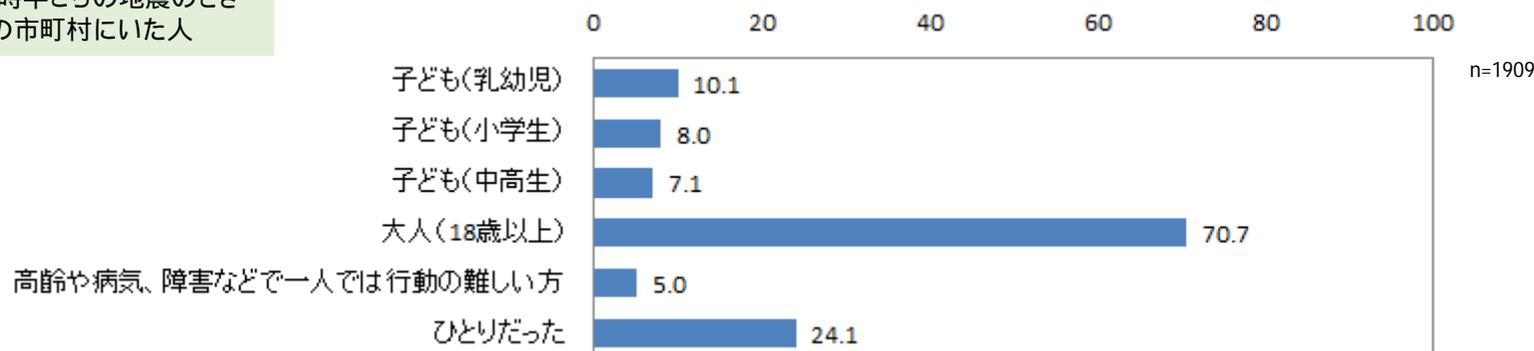
4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、地震発生時に誰と一緒にいたか聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人で

- 「ひとりだった」と回答した人は、いずれの地震でも2割台半ばとなっており、全体と同程度となっている。

4月14日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



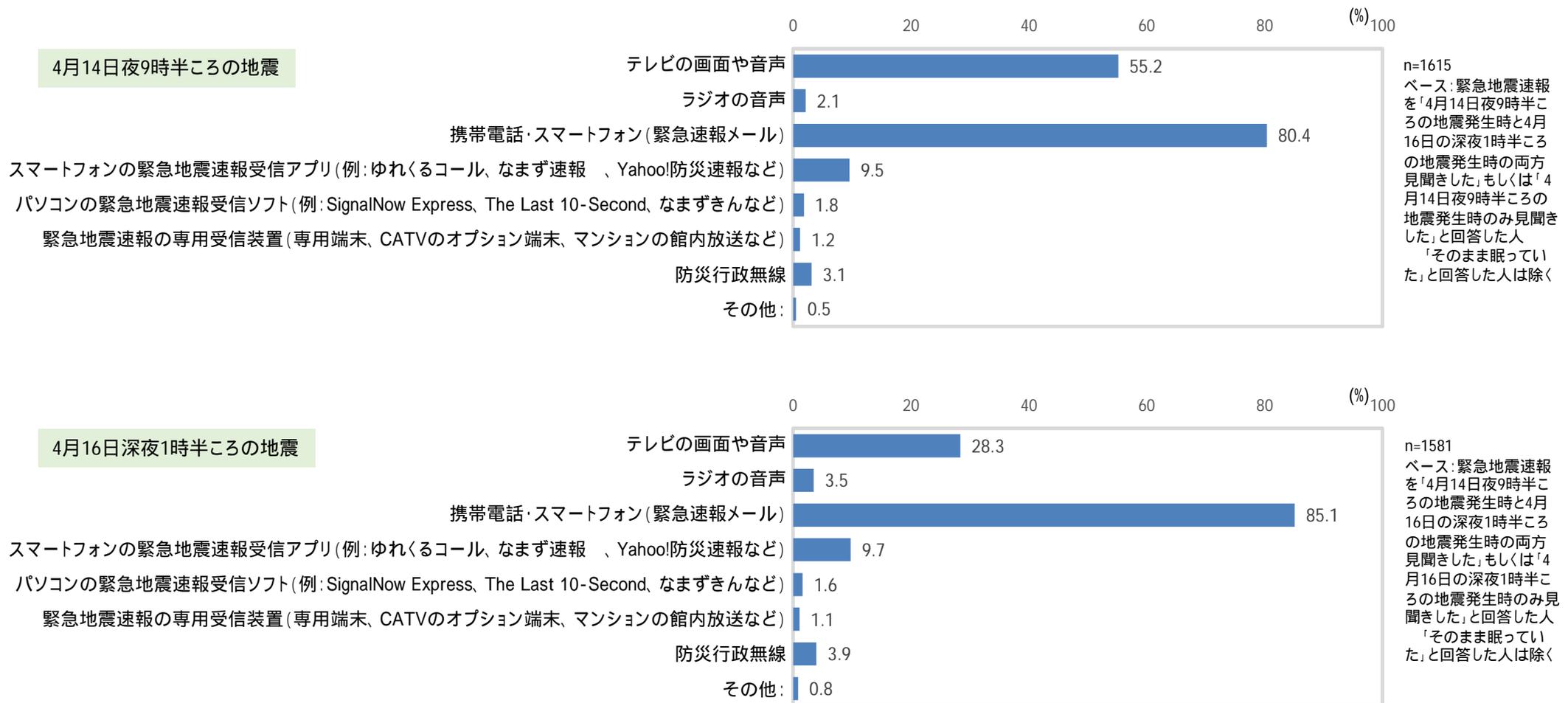
4月16日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



【地震発生時における緊急地震速報の入手方法】

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報を何で入手したか聞いたところ、

- 「携帯電話・スマートフォン(緊急速報メール)」と回答した人は、14日の地震では約8割、16日の地震では8割台半ばと多数を占めている。
- 「テレビの画面や音声」と回答した人は、14日の地震では5割台半ば、16日の地震では3割弱となっている。

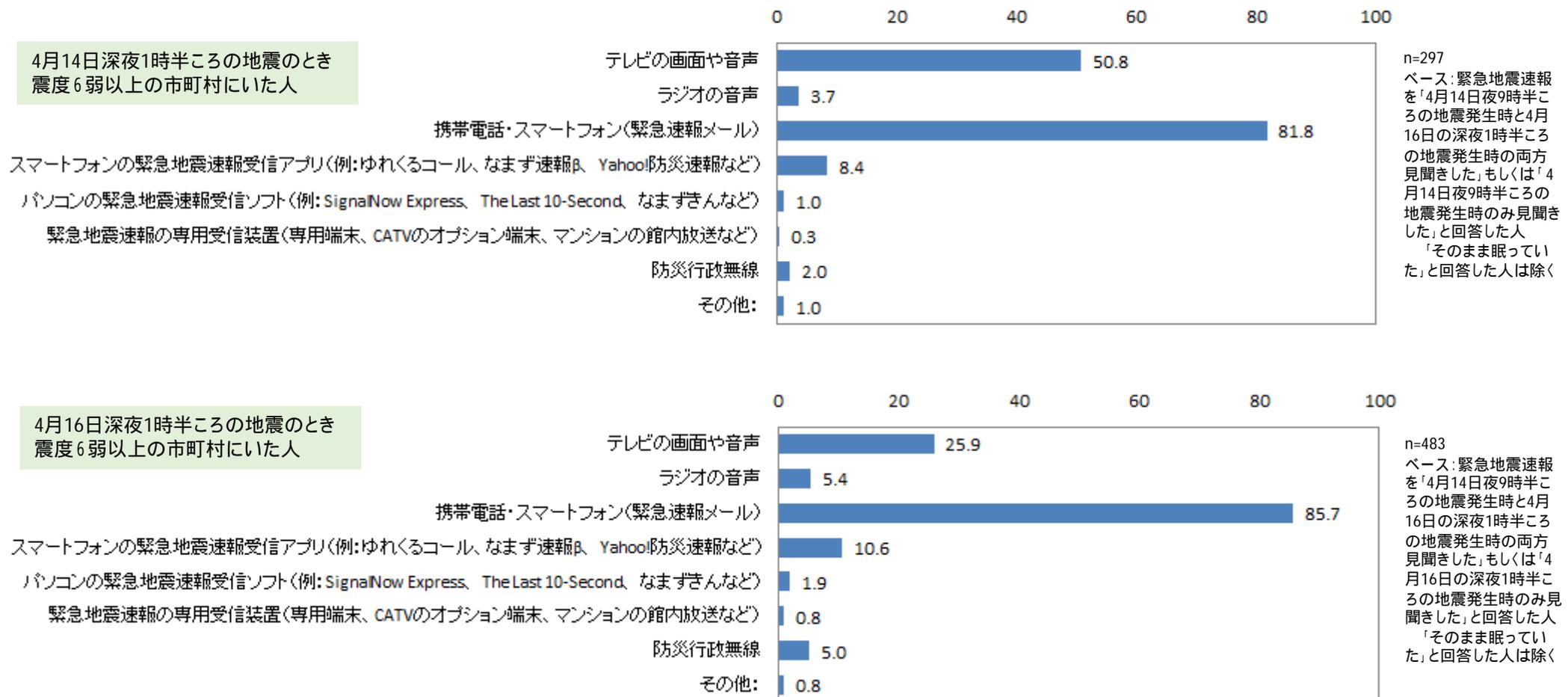


【地震発生時における緊急地震速報の入手方法】

震度6弱以上

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報を何で入手したか聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人で

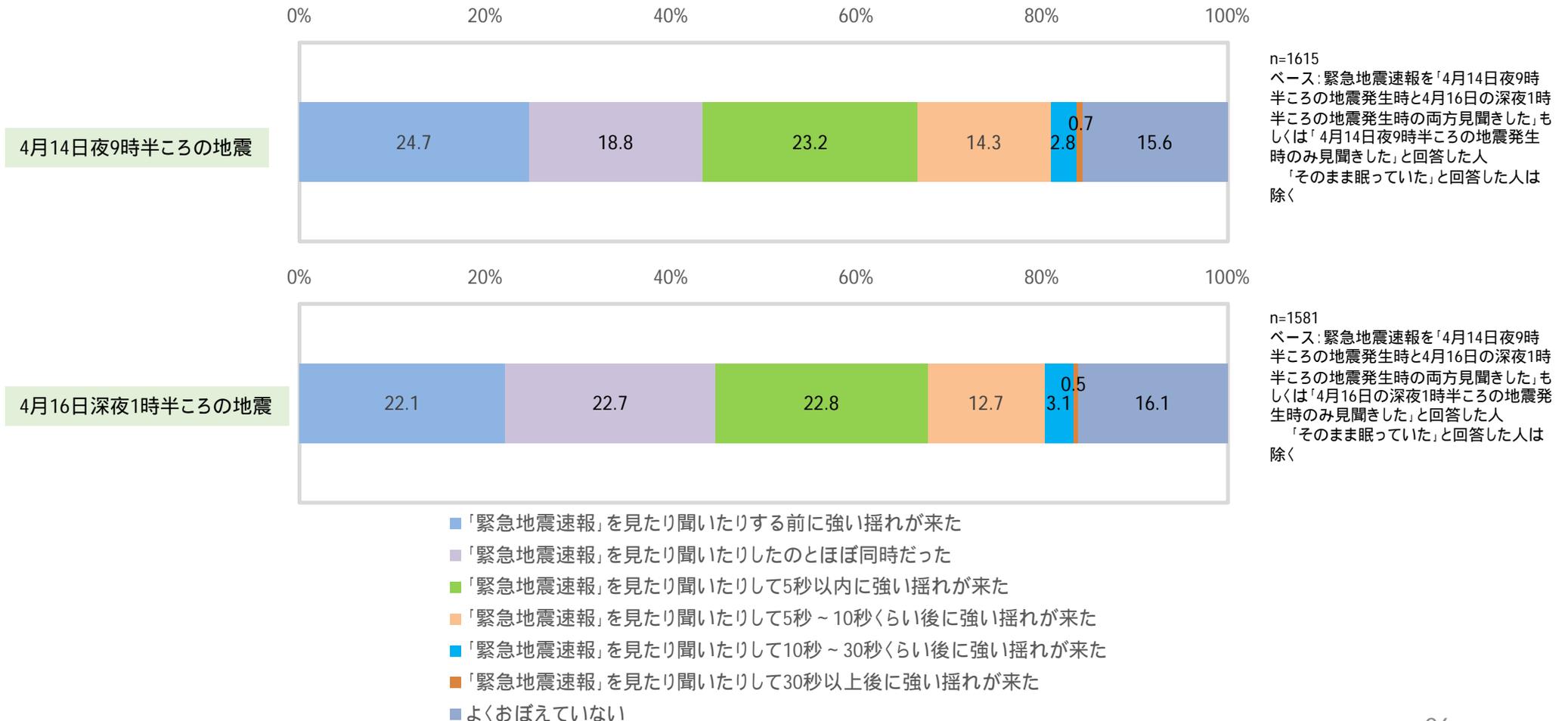
- 「携帯電話・スマートフォン(緊急速報メール)」と回答した人は、14日の地震では8割強、16日の地震では8割台半ばと多数を占めており、全体と同程度となっている。
- 「テレビの画面や音声」と回答した人は、14日の地震では約5割、16日の地震では2割台半ばで、全体と同程度となっている。



【緊急地震速報入手から揺れを感じるまでの時間】

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報の入手から揺れを感じるまでの時間を聞いたところ、

- 「『緊急地震速報』を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た」と回答した人は、14日の地震では2割台半ば、16日の地震では2割強となっている。
- 強い揺れを感じる前に緊急地震速報を入手したと回答した人は、14日の地震では4割強、16日の地震では、4割弱となっている。



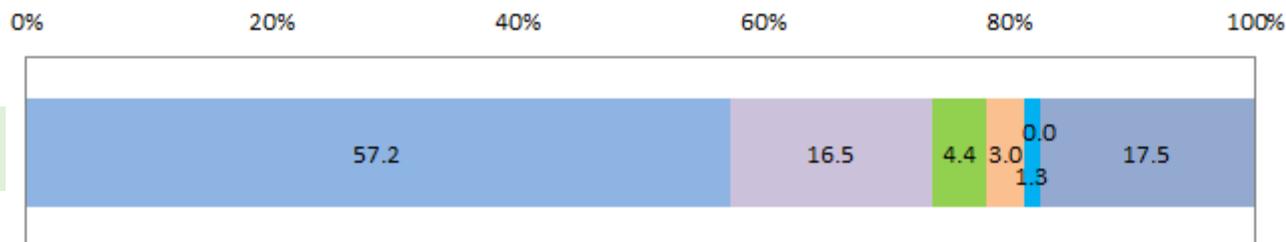
【緊急地震速報入手から揺れを感じるまでの時間】

震度6弱以上

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報の入手から揺れを感じるまでの時間を聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人で

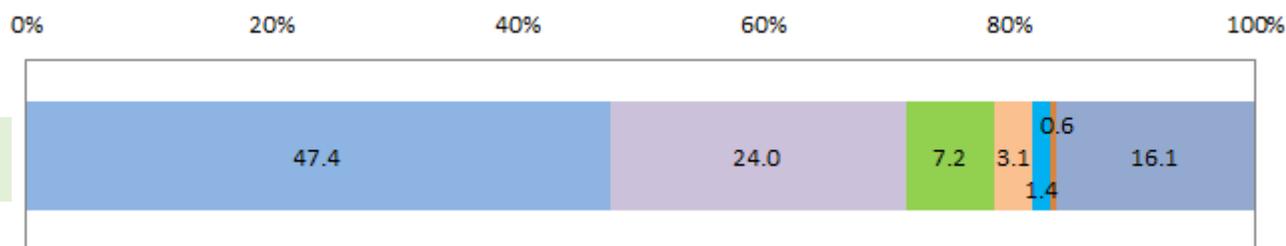
- 「『緊急地震速報』を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た」と回答した人は、14日の地震では5割台半ば、16日の地震では4割台半ばとなっており、全体に比べて、20ポイント以上高くなっている。
- 「『緊急地震速報』を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た」と回答した人は、14日の地震に比べて、16日の地震の方が、1割程度少なくなっており、経験により緊急地震速報の認知が上がった可能性も見て取れる。

4月14日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



n=297
ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

4月16日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



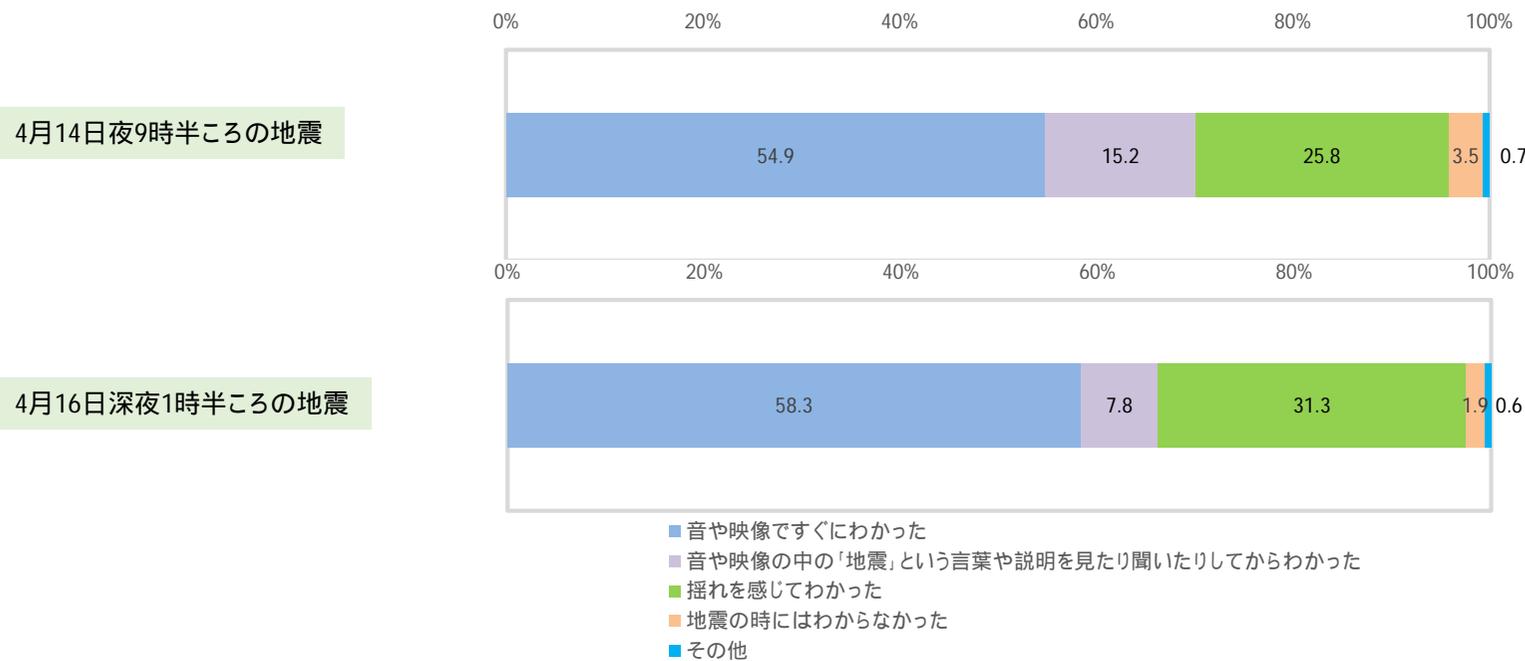
n=483
ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたのとほぼ同時だった
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして5秒以内に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして5秒～10秒くらい後に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして10秒～30秒くらい後に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして30秒以上後に強い揺れが来た
- よくおぼえていない

【緊急地震速報入手時における緊急地震速報に対する理解】

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報を入手して、緊急地震速報であることがわかったか聞いたところ、

- 「音や映像ですぐにわかった」と回答した人は、14日の地震では5割台半ば、16日の地震では6割弱となっている。
- 「揺れを感じてわかった」と回答した人は、14日の地震では2割台半ば、16日の地震では3割強となっている。
- 3年前の淡路島の地震時と比べてすぐに分かる割合は向上している。



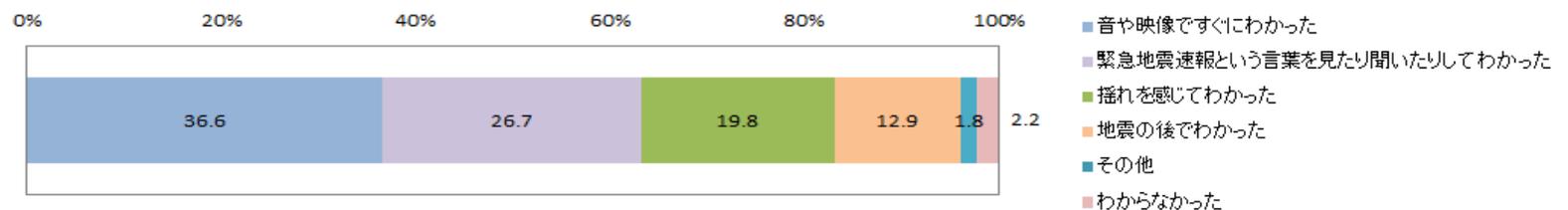
n=1615

ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

n=1581

ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

(参考)平成25年4月13日の淡路島付近の地震における緊急地震速報に関する緊急調査の結果

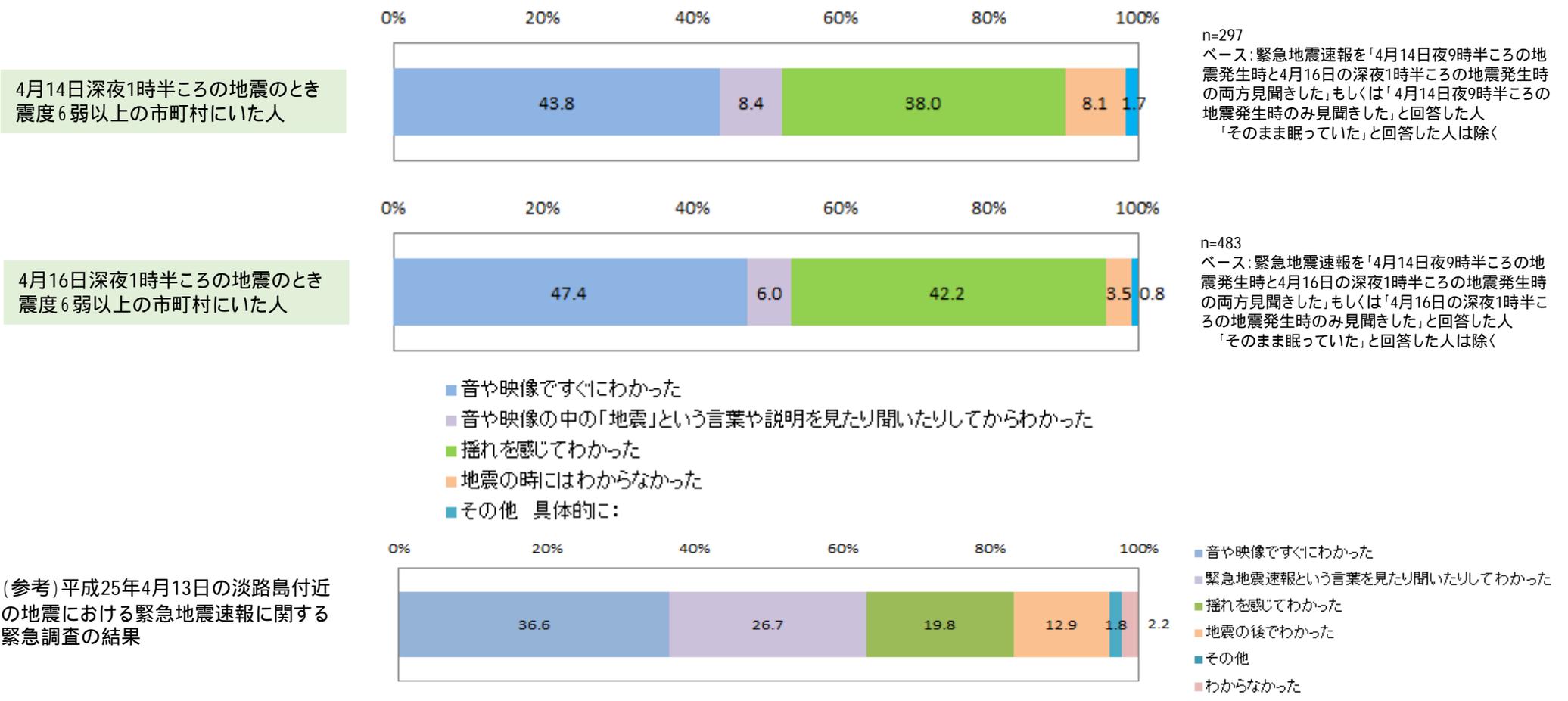


【緊急地震速報入手時における緊急地震速報に対する理解】

震度6弱以上

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報を入手して、緊急地震速報であることがわかったか聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人で

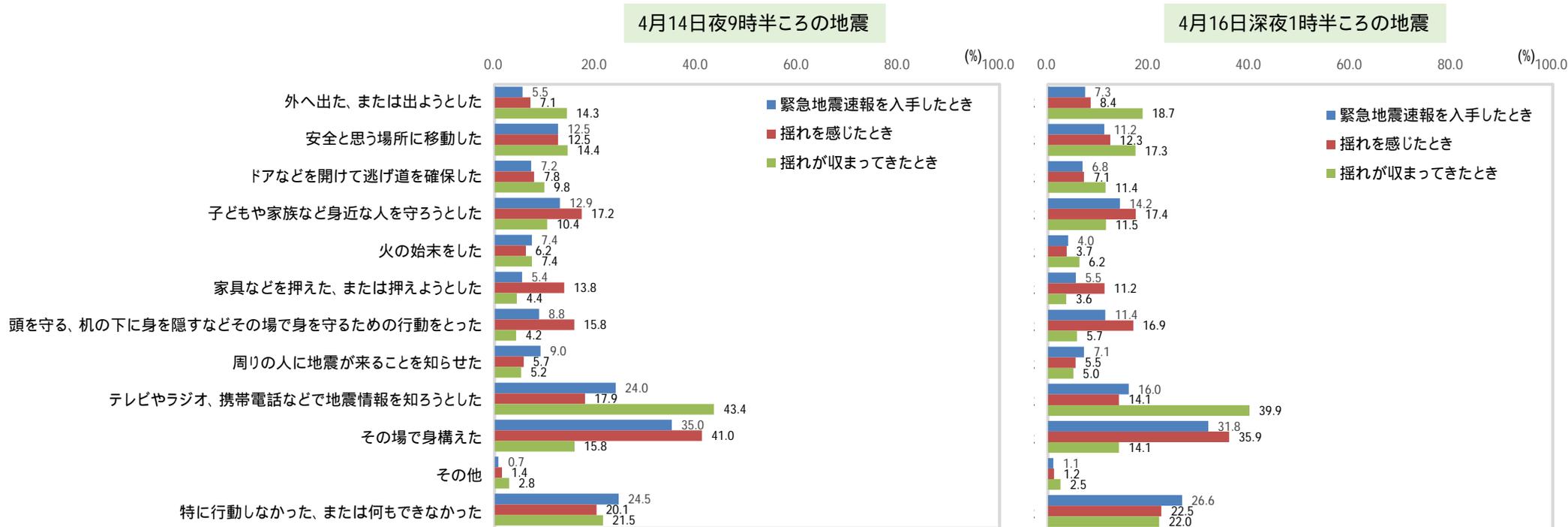
- 「音や映像ですぐにわかった」と回答した人は、いずれの地震でも4割台半ばで、全体に比べて10ポイント以上低くなっている。
- 「揺れを感じてわかった」と回答した人は、いずれの地震でも4割程度で、全体に比べて10ポイント以上高くなっている。



【緊急地震速報や揺れに対する行動】

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報や揺れをきかっけに、どのような行動を取ったか聞いたところ、

- ・ < 緊急地震速報を入手したとき > < 揺れを感じたとき > においては、いずれも「その場で身構えた」と回答した人は、14日の地震では4割前後、16日の地震では3割台と最も高くなっている。
- ・ < 揺れが収まったとき > においては、「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」と回答した人は、14日の地震では4割台半ば、16日の地震では約4割と最も高くなっている。



< 緊急地震速報を入手したとき > n=1615
 ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

< 揺れを感じたとき > < 揺れが収まってきたとき > n=1897
 ベース：4月14日夜9時半ころの地震の際、「そのまま眠っていた」以外の人

< 緊急地震速報を入手したとき > n=1581
 ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

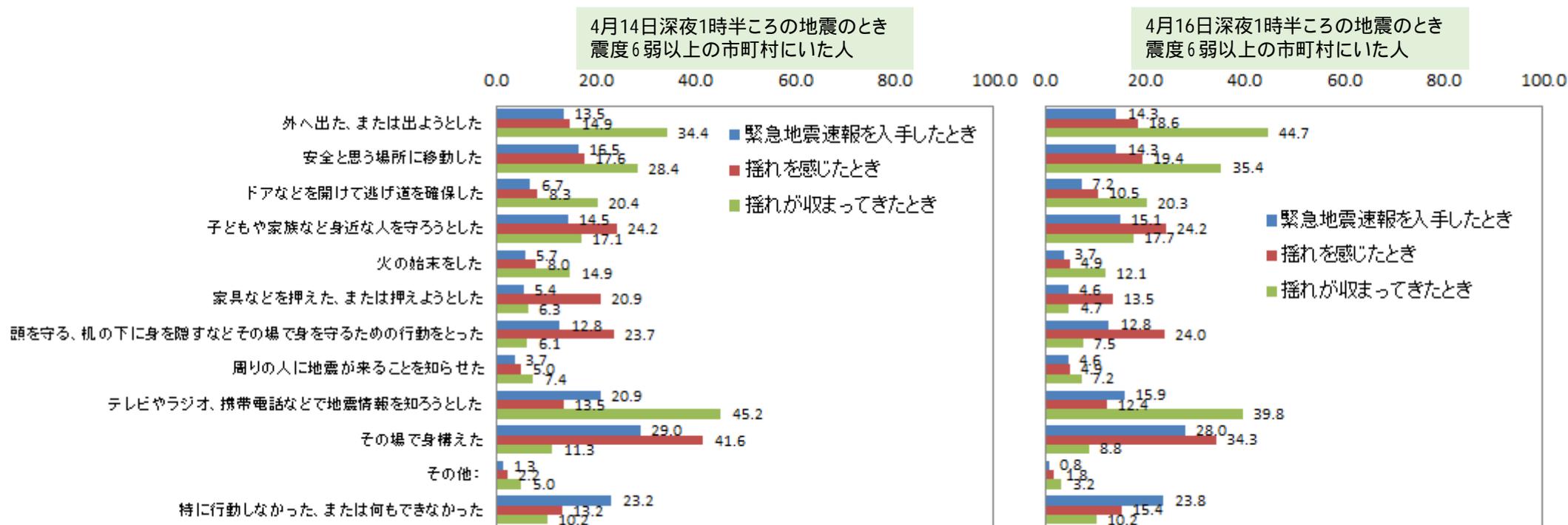
< 揺れを感じたとき > < 揺れが収まってきたとき > n=1847
 ベース：4月16日深夜1時半ころの地震の際、「そのまま眠っていた」と回答した以外の人

【緊急地震速報や揺れに対する行動】

震度6弱以上

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報や揺れをきかっけに、どのような行動を取ったか聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人は

- 「外へ出た、または出ようとした」と回答した人は、いずれの地震でも、全体に比べて2倍程度高くなっている。
- <揺れが収まったとき>においては、「外へ出た、または出ようとした」「安全と思う場所に移動した」「ドアなどを開けて逃げ道を確保した」と回答した人は、全体に比べて、10ポイント以上高くなっている。
- 「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」と回答した人は、全体と同程度となっている。



<緊急地震速報を入手したとき> n=297
 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

<揺れを感じたとき> <揺れが収まってきたとき> n=363
 ベース: 4月14日夜9時半ころの地震の際、「そのまま眠っていた」以外の人

<緊急地震速報を入手したとき> n=483
 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人
 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

<揺れを感じたとき> <揺れが収まってきたとき> n=571
 ベース: 4月16日深夜1時半ころの地震の際、「そのまま眠っていた」と回答した以外の人

【緊急地震速報を入手した際、行動を起こさなかった理由】

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報を入手した際に行動を起こさなかった理由を聞いたところ、

- 「そのとき居た場所が安全だと思ったから」と回答した人は、14日の地震では4割強、16日の地震では5割弱となっている。
- 14日の地震で、「地震がくるということは理解できたが、何をしてもよいかわからなかったから」と回答した人は、“その場で身構えた”人のほうが“特に行動しなかった、または何もできなかった”人に比べ13ポイント高くなっている。
- 16日の地震で、「そのとき居た場所が安全だと思ったから」と回答した人は、“その場で身構えた”人のほうが“特に行動しなかった、または何もできなかった”人に比べ10ポイント高くなっている。

4月14日夜9時半ころの地震



n=962

ベース：4月14日夜9時半ころの地震のとき、緊急地震速報を入手した際、「その場で身構えた」もしくは「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

4月16日深夜1時半ころの地震



n=922

ベース：4月16日深夜1時半ころの地震のとき、緊急指針速報を入手した際、「その場で身構えた」もしくは「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

- そのとき居た場所が安全だと思ったから
- 緊急地震速報の音や振動、画面を見ても、地震が来るということをとっさには理解できなかったから
- 地震がくるということは理解できたが、何をしてもよいかわからなかったから
- たいした揺れではないと思ったから
- 緊急地震速報を信じていなかったから
- 緊急地震速報を受けてから行動しようと思ったが間に合わなかったから
- その他

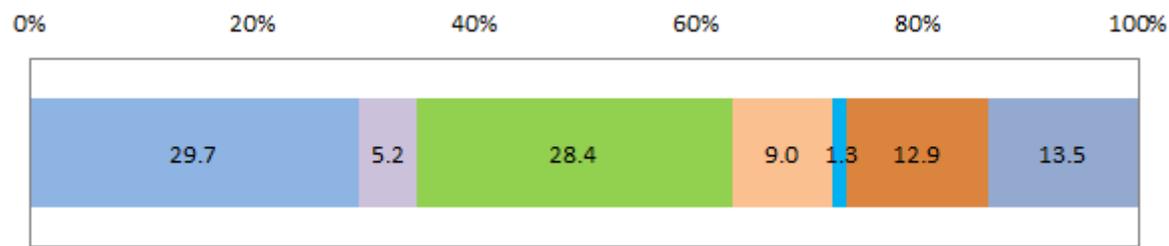
【緊急地震速報を入手した際、行動を起こさなかった理由】

震度6弱以上

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、緊急地震速報を入手した際に行動を起こさなかった理由を聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人は

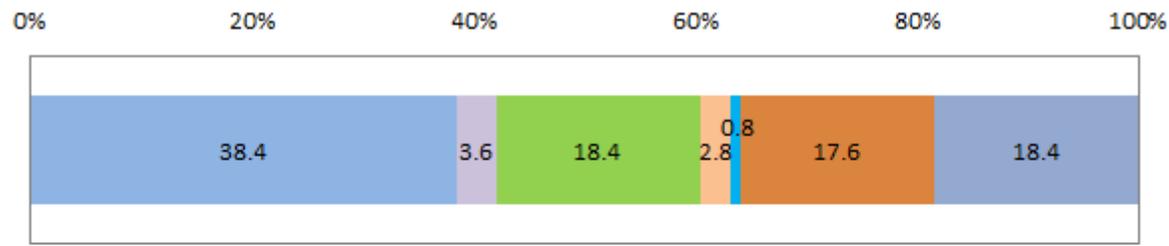
- 全体に比べて、「そのとき居た場所が安全だと思ったから」と回答した人は、いずれの地震でも10ポイント以上低く、2つの地震を比べると、16日の地震のほうが10ポイント弱高くなっている。
- 「緊急地震速報を受けてから行動しようと思ったが間に合わなかった」と回答した人は、全体に比べて、2倍程度高くなっている。
- 「地震がくるということは理解できたが、何をすべきかわからなかったから」と回答した人は、14日の地震よりも16日の地震のほうが10ポイント低く、経験による効果が見て取れる。

4月14日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



n=155
ベース: 4月14日夜9時半ころの地震のとき、緊急地震速報を入手した際、「その場で身構えた」もしくは「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

4月16日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人



n=250
ベース: 4月16日深夜1時半ころの地震のとき、緊急指針速報を入手した際、「その場で身構えた」もしくは「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

- そのとき居た場所が安全だと思ったから
- 緊急地震速報の音や振動、画面を見ても、地震が来るということをとっさには理解できなかったから
- 地震がくるということは理解できたが、何をすべきかわからなかったから
- たいした揺れではないと思ったから
- 緊急地震速報を信じていなかったから
- 緊急地震速報を受けてから行動しようと思ったが間に合わなかったから
- その他:

【揺れ始めた際、行動を起こさなかった理由】

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、揺れ始めた際に行動を起こさなかった理由を聞いたところ、

- 「そのとき居た場所が安全だと思ったから」と回答した人は、14日の地震では4割強、16日の地震では4割台半ばとなっている。

4月14日夜9時半ころの地震



n=1160
ベース：揺れを感じた際、「その場で身構えた」もしくは「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

4月16日深夜1時半ころの地震



n=1078
ベース：4月16日深夜1時半ころの地震のとき、揺れを感じた際、「その場で身構えた」もしくは「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

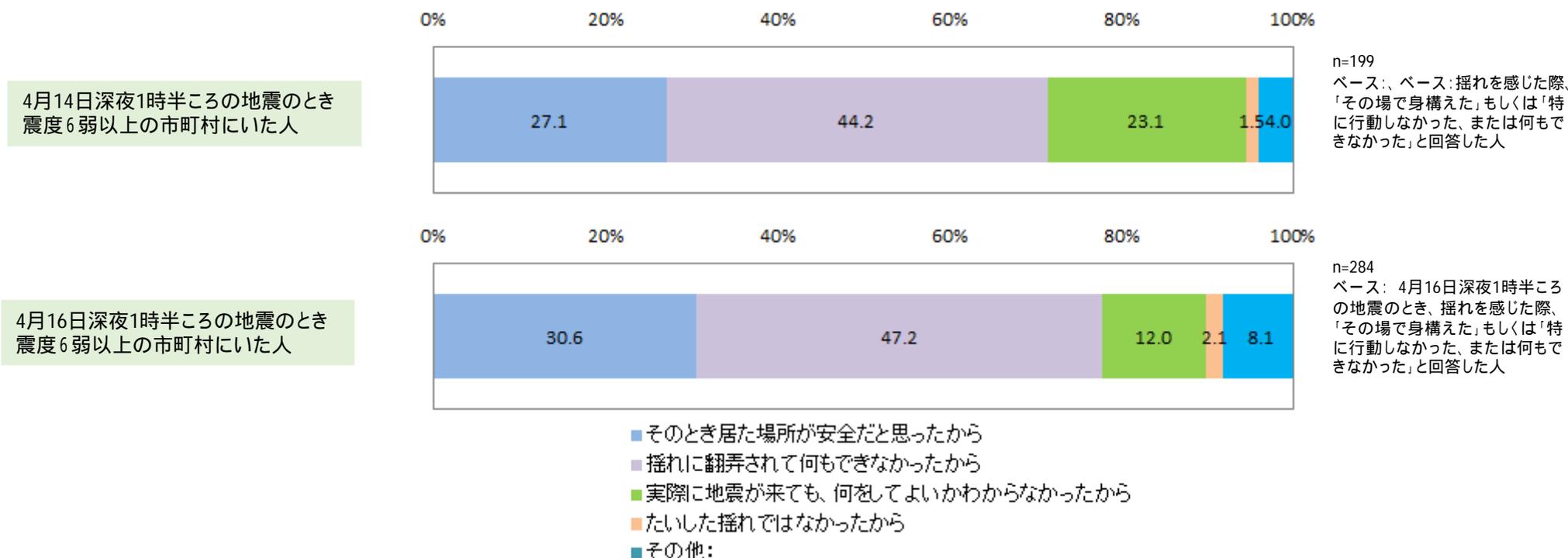
- そのとき居た場所が安全だと思ったから
- 揺れに翻弄されて何もできなかったから
- 実際に地震が来ても、何をしてもよいかわからなかったから
- たいした揺れではなかったから
- その他

【揺れ始めた際、行動を起こさなかった理由】

震度6弱以上

4月14日夜9時半ころの地震と4月16日深夜1時半ころの地震について、揺れ始めた際に行動を起こさなかった理由を聞いたところ、地震時に震度6弱以上の市町村にいた人は

- 「そのとき居た場所が安全だと思ったから」と回答した人は、全体に比べて、いずれの地震でも10ポイント以上低くなっている。
- 「揺れに翻弄されて何もできなかったから」と回答した人は、全体に比べて、いずれの地震でも20ポイント以上高くなっている。
- 「実際に地震が来ても、何をしても良いかわからなかったから」と回答した人は、14日の地震よりも16日の地震のほうが10ポイント以上低くなっている。



【地震に対する備えの開始時期】

地震に対する備えを行った(見直しや確認だけでも含む)時期を聞いたところ、

- 地震時に震度6弱以上の市町村にいた人は、全体に比べて熊本地震をきっかけに、地震の備えを行った人が多く、「倒れやすいもの、落ちやすいものなどを安全な場所に置いた」「水や食料などの備蓄用品を準備した」「地震が来たときに対する対応について考えたり、家族で話し合ったりした」と回答した人は、いずれも約7割以上となっている。



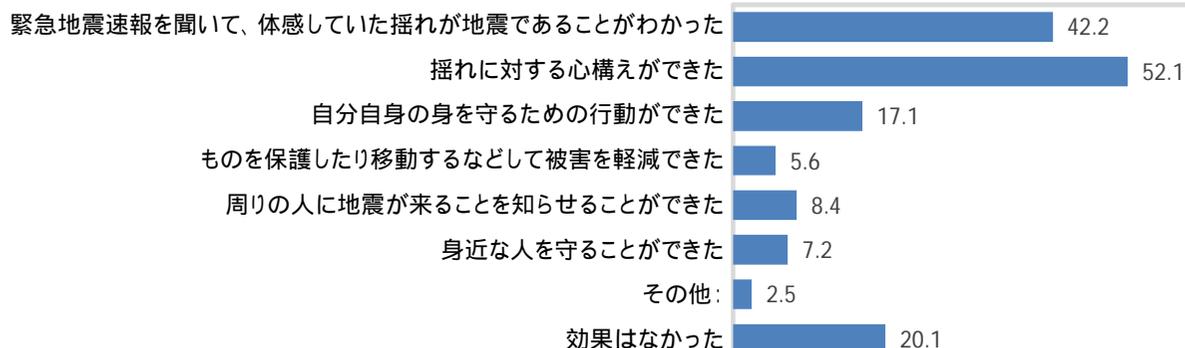
【緊急地震速報の効果】

熊本地震のときに、緊急地震速報の効果があったかどうか聞いたところ、

- 地震時に震度6弱以上の市町村にいた人は、全体に比べて「揺れに対する心構えができた」、「緊急地震速報を聞いて、体感していた揺れが地震であることがわかった」の回答は1割程度少なく、「効果はなかった」と回答した人も3割台半ばとなっているが、「自分自身の身を守るための行動ができた」、「身近な人を守ることができた」については多少割合が多い。

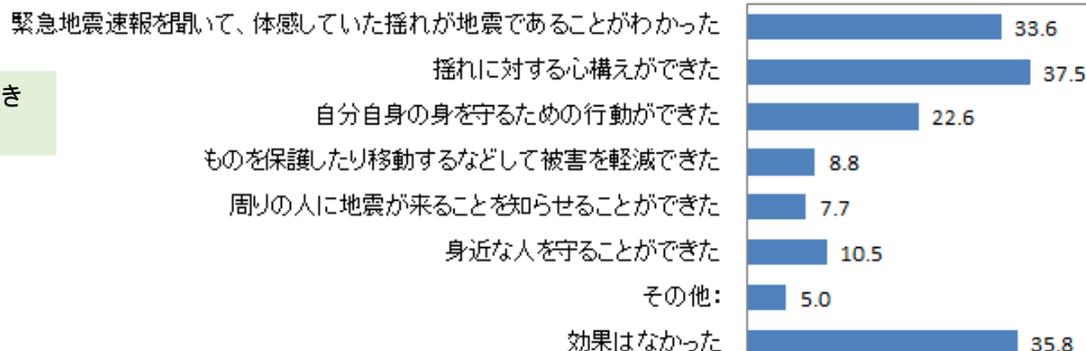
全体

n=1909



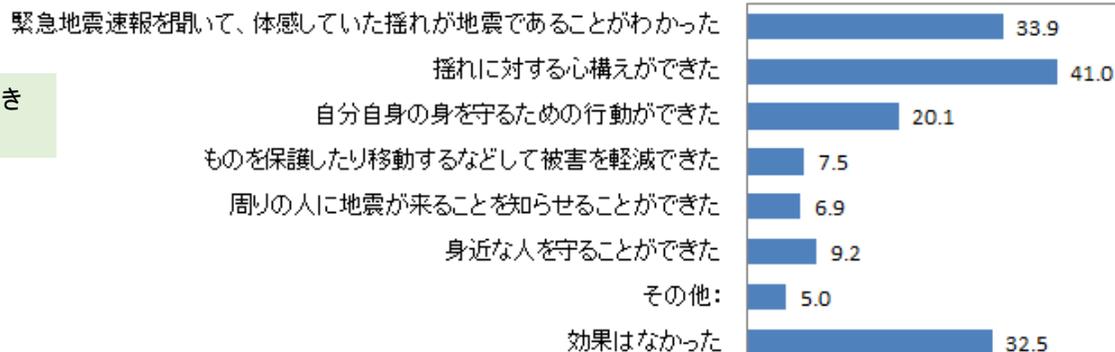
4月14日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人

n=363



4月16日深夜1時半ころの地震のとき
震度6弱以上の市町村にいた人

n=576

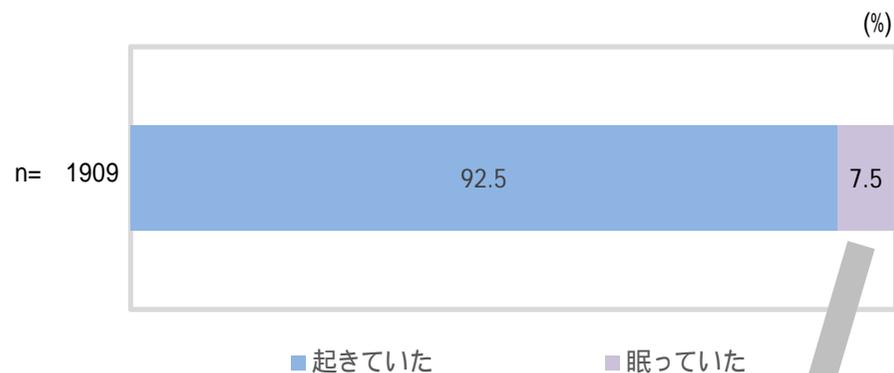


【速報結果分析】

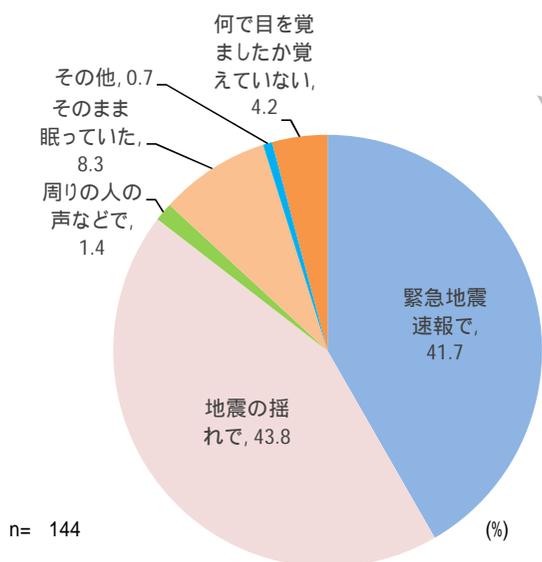
〔1. 眠っている人に対する効果〕

- 眠っていた人のうち、緊急地震速報がきっかけで目を覚ました人は、いずれの地震とも4割強

〔Q2〕4月14日夜9時半ころの地震が発生した時、あてはまるものについて教えてください。

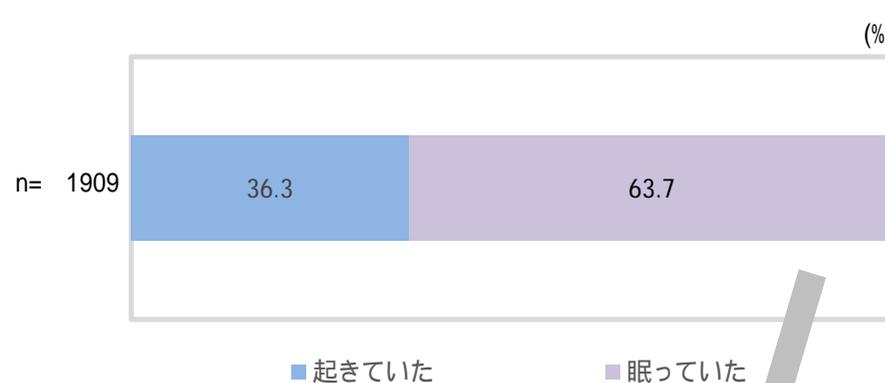


〔Q3〕地震のときに「眠っていた」方は、何をきっかけに目を覚ましたか。

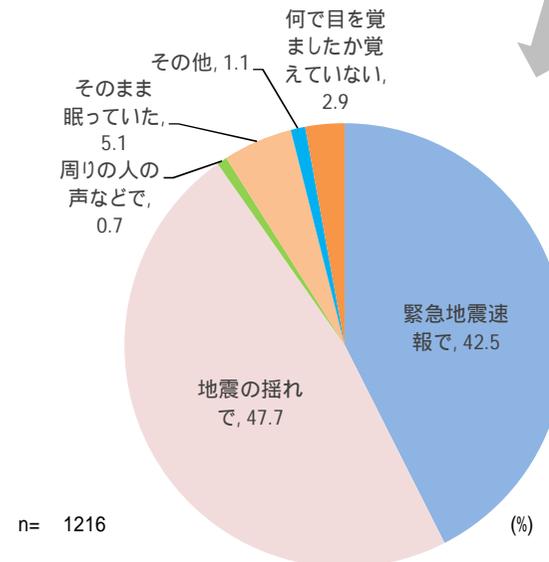


ベース：4月14日夜9時半ころの地震発生時に「眠っていた」と回答した人

〔Q2〕4月16日深夜1時半ころの地震発生した時、あてはまるものについて教えてください。



〔Q15〕地震のときに「眠っていた」方は、何をきっかけに目を覚ましたか。



ベース：4月16日深夜1時半ころの地震発生時に「眠っていた」と回答した人

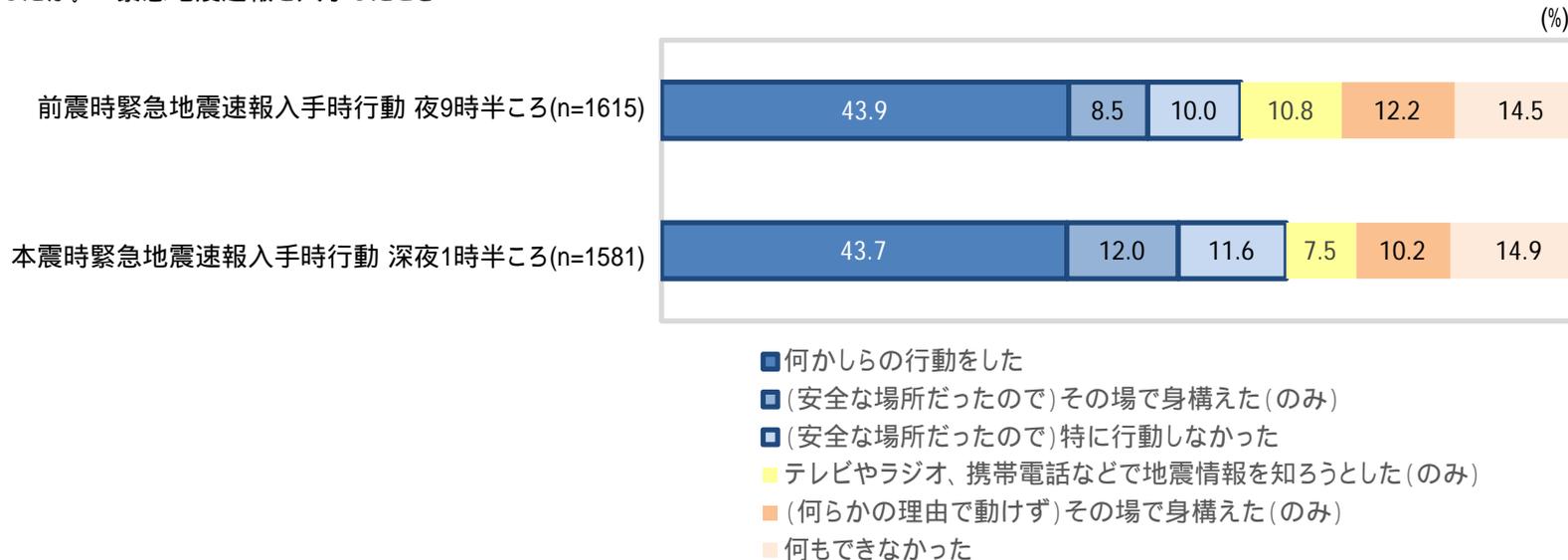
【速報結果分析】

〔2. 揺れの前にとった行動〕

- 緊急地震速報入手して何かしらの行動をした人は、いずれの地震も4割以上。
- 緊急地震速報入手時に安全な場所にいたため「その場で身構えた」のみの人、「特に行動をしなかった」人は、いずれの地震も合わせて2割前後。
- 緊急地震速報入手をきっかけに「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」のみ的人はいずれの地震も合わせて1割程度。
- 緊急地震速報入手時に何らかの理由で動けず「その場で身構えた」のみの人、「特に行動をしなかった」人はいずれの地震も25%前後。

〔Q8〕4月14日夜9時半ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。〈緊急地震速報を入手したとき〉

問20 4月16日深夜1時半ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。〈緊急地震速報を入手したとき〉



n=1615 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

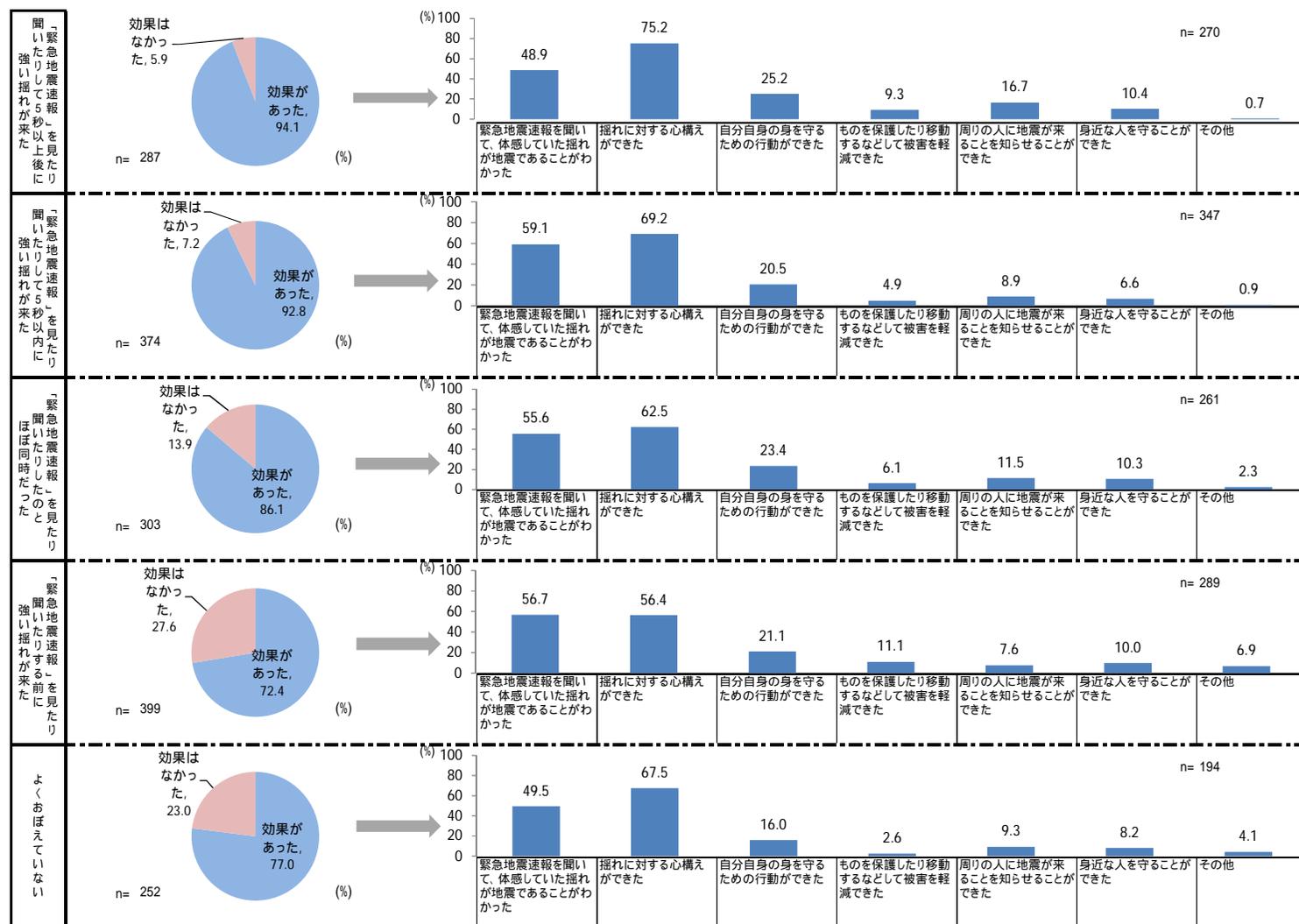
n=1581 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【速報結果分析】

〔4. 猶予時間(14日の地震時)別効果有無と効果の内容〕

- 猶予時間が長いほど「効果があった」とする人が多く、特に「心構え」の面で差が見られる。
- 緊急地震速報より前に強い揺れが来た場合でも緊急地震速報は「効果があった」人は6割以上で、緊急地震速報によって「体感している揺れが地震であること」を認知した人は5割以上。

〔Q26〕熊本地震のときに、緊急地震速報の効果はありましたか。〈14日の地震時猶予時間別クロス集計〉



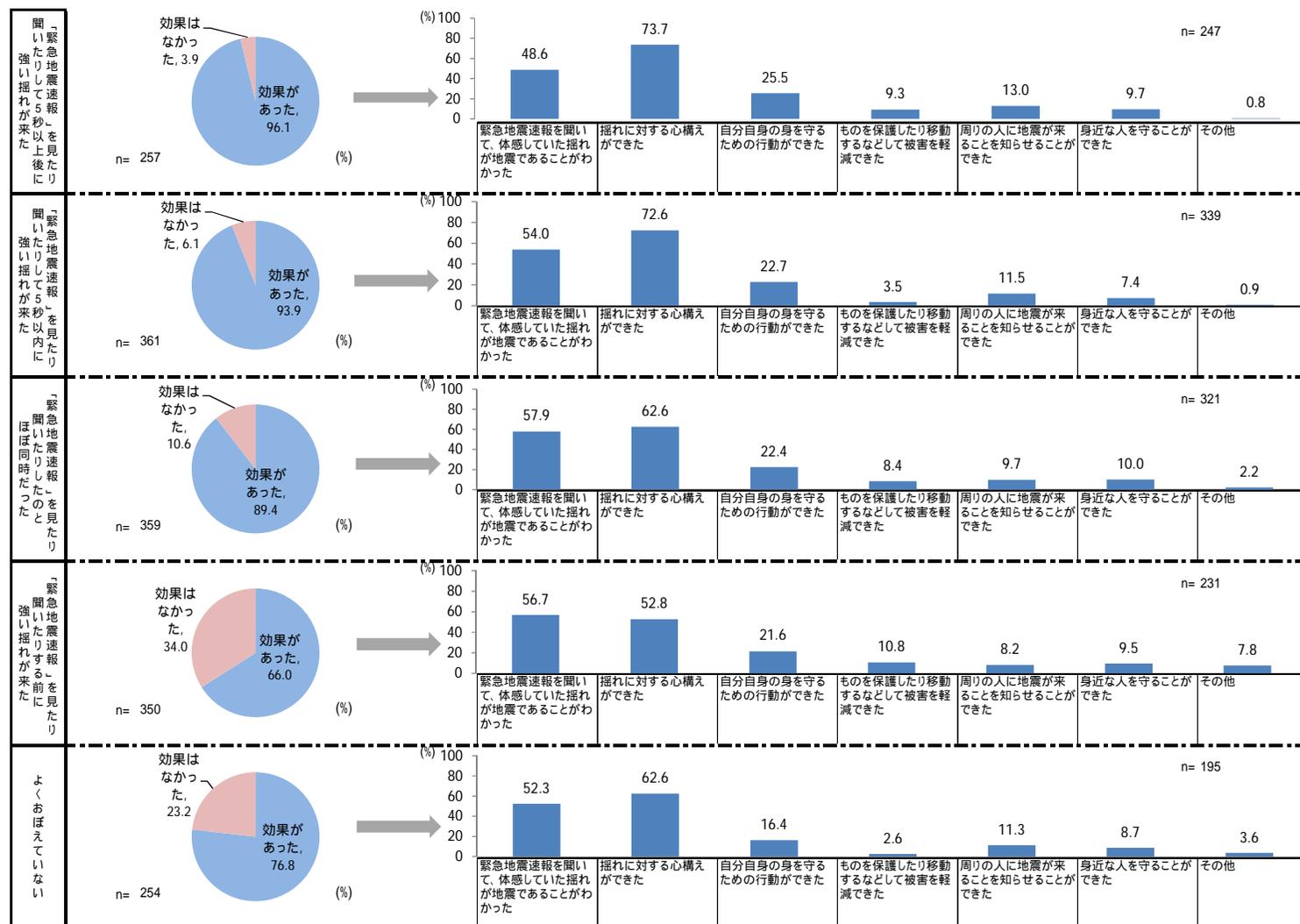
ベース:効果の内容に関しては「効果はなかった」という回答は除外して集計している。

【速報結果分析】

〔4. 猶予時間(16日の地震時)別効果有無と効果の内容〕

- 16日の地震時の猶予時間別にみても、14日の地震時の猶予時間別結果(前ページ)と同様の傾向にある。

〔Q26〕熊本地震のときに、緊急地震速報の効果はありましたか。〈16日の地震時猶予時間別クロス集計〉



ベース:効果の内容に関しては「効果はなかった」という回答は除外して集計している。